

## 今回のテーマ

### 「就学指導・進路指導について」

第 1 回のブロック学習会は、台風のため中止となり、第 2 回ではありますが初めての学習会となりました。少人数ではありましたが、和気あいあいとした雰囲気、楽しい学習会になったと思います。

#### 1 資料による説明

副支部長の南陽中 加藤敏典先生より、事前アンケートに答える形で、就学先決定の流れを確認しました。

質問：どのような流れで進学していくのか知りたいです。



今年度の守山養護学校産業科の日程を基に説明するよ。高等特別支援学校を希望する場合には、学校説明会から参加しないと受検できないことがあるから、保護者には気になる学校がある場合は全て見学へ行くように話した方がいいね。あと、受検日が一緒だから併願ができない場合があるよ。

名古屋市立の特別支援学校高等部へは、募集人数が集中した場合などのために、2 校以上見学をしておく必要があるよ。

質問：愛護手帳が取れない生徒の進学先について知りたい。



専修学校・各種学校などがあります。評定がなくても積極的に受け入れてくれる学校もあるよ。以前受けもった生徒が専修学校へ行って、短大へ入った生徒もいたよ。

実体験も交えながら説明がありました。様々な実態の児童生徒がいると思います。その子に合った進学や就労ができるといいですね。

## 2 グループワーク

「就学指導・進路指導における保護者との関わり」というテーマを基に就学指導・進路指導における保護者との関わりについて現在困っていることや分からないことを出し合いました。メモ用紙に自分の困っていることや分からないことを書き、同じような意見をまとめ、より適切な回答を考え、Q&Aシートを作成しました。



手帳の度数や障害の種類に関係なく、目の前にいる子、その保護者が進学先で何がしたいかが重要なだね。

### Q&A シートの一部

Q. 卒業後の先の進路は？ 就労先など。	A. 就労の制度はいろいろある。就労移行支援 A 型や B 型、独自の製品を作っている作業所など。教師が制度についての勉強が必要。区役所に「障害者福祉のしおり」があるので、参考にするとよい。【ウェルネットなごや】からダウンロード可能。担任者会などでの情報を入れることも大切。
Q. 高等特別支援学校の入学（合格）基準は？	A. 学力も大切な要素ではあるが、生活能力も大切。就労や社会自立に目を向けることが重要。それが基準に近いものだと考える。
Q. 通常学級・支援学級・支援学校の境界線は？	A. 明確な境界線はないが、児童生徒の困り感からその子に合った環境を考える。



ブロックのみんなへ連絡です！！

とてもアットホームな会です。車も駐車場次第だけど OK です！！地域のことやテーマについて理解が深まるはずです！！

次回は、11月5日(月)18:30～ 諏訪小学校！！

テーマは、「道徳について」です。特別支援の道徳ってどうするの？と一緒に考えましょう！

みんな、先生は待ってま～す！！

文責：諏訪小学校 加藤昭太郎